

市民の裁判員制度

2004年10月発行

めざす会会報

事務局長 岩崎光記(岩崎法律事務所)

電話 052 524 2216

www.saibanin.jp

市民の裁判員制度 “市民”とは誰のこと？

色々な人に心配な点を聞くために いくつかのNPO・市民団体に声をかけてみることにしました。(9月4日の定例会後 いくつかの団体にメールにて問い合わせ) またメンバーが訪問する時“名刺がないと不便”なので各メンバーにめざす会特製名刺を定例会で配布。

10月定例会では まず車椅子利用者にメールとは別に直接呼びかけることにしました。その後荒井さんが知人の車椅子利用者にこの話をしたところ大変興味を示してくれたという連絡がありました。

11月定例会で具体的に相談できるかどうかの下見を荒井さんと知人で先行して実施します。

10月21日に名古屋地裁にて裁判所先行ウォッチングをします。

車椅子利用者が自家用車でくる場合 駐車場がまず問題になります。それについては事務局の岩崎さんに便宜をはかってもらえるかどうか 確認を依頼しています。

21日の下見ウォッチングの結果を参考に11月の定例会で本格的なウォッチングについて検討します。

各地の法の日(10月1日)行事で裁判員制度に関係ある行事を紹介します。 (つくろう会のメールから抜粋)

京都弁護士会(彦惣弘会長)は30日、講演と映画を通して裁判員制度について考えるシンポジウム「裁判員制度ってどんな制度？」を開く。

元京都弁護士会会員で、「赤かぶ検事」シリーズで知られる作家の和久峻三氏が「わが国における戦前の陪審裁判の経験と裁判員」と題して講演する。戦前の2928年(昭和3)年から43年まで日本で実施された陪審裁判を解説しながら、国民の司法参加を図るには何が必要かを話す。

また、日弁連が作った映画「裁判員 - 決めるのはあなた」を鑑賞しながら、法廷構造や裁判員の守秘義務などをテーマに参加者と意見交換し、国民が参加しやすい裁判

.....

裁判員制度の理解を 保険金詐欺事件を想定、岡山弁護士会が模擬裁判

刑事裁判に国民が参加する裁判員制度が09年5月までにスタートすることを受け、

岡山弁護士会は26日、制度に対する理解を深めてもらおうと、裁判員の参加を想定した模擬裁判を、岡山市石関町の県総合福祉会館で行った。・・・「鷲羽山スカイライン殺人事件」と題したフィクション。・・・岡山大の有志約20人が検察官や裁判官、被告などを演じた。起訴事実を全面否認する女に対して、4人の証人が出廷し、会場から選ばれた6人の裁判員が裁いた。

講評で和田朝治弁護士は、裁判員制度実施の課題として「司法制度や事件に関する事前の丁寧な説明や、難解な法律専門用語を分かりやすい表現に変え、積極的に市民に参加してもらう努力が必要だ」と話した。

裁判所で研修会、教員26人が参加 / 鳥取

学校における「法に関する教育」を進めるため、教員の資質・能力の向上を図る研修会が28日、鳥取地方・家庭裁判所で開かれた。参加した教員は真剣にメモを取ったり、裁判官に質問したりしていた。

同裁判所が主催し、県内各地の中・高等学校から26人が参加。実際の刑事裁判を傍聴した後、一般の人が判決にも加わる新制度「裁判員制度」などについて質問した

東京・法の日イベント・・・法曹3者が裁判員をPR

最高裁や法務省、日弁連などが主催。司会者の質問に答える形式で、東京地裁の永井敏雄部総括判事と最高検の神垣清水総務部長、日弁連の酒井幸裁判員制度実施本部副本部長が、模擬裁判のビデオ映像などを使って制度の仕組みや刑事裁判の考え方を解説した。

政府の司法制度改革推進本部の大野恒太郎事務局次長は「国民が刑事裁判に参加することで、司法への理解や信頼が深まることが期待されている」と裁判員制度への積極的参加を呼び掛けた。

10月1日、大阪弁護士会館6階ホールで画期的な「裁判員制度イベント」が盛大に開催されました。盛況度は、従前の大阪弁護士会単独開催の場合でも毎回「大盛況で熱い」でしたが、今回も同様に盛況で、熱く燃えていました。

裁判員制度や検察の役割は？ 学生ら招き公開講座 - - 山口地検 / 山口

「法の日」週間(1～7日)の3日、山口地検は高校生や大学生ら70人を招き公開講座を開いた。国民が刑事裁判に参加する裁判員制度の開始を前に、制度や検察の役割を知ってもらおうのが狙い。

荒井さん欧州旅行 イギリス・モナコの裁判所を見学・・・ホームページにアップしました。

2004年11月の定例会 6日13時から名古屋消費生活センターにて